

焰の女（1941）

THE FLAME OF NEW ORLEANS

メディア 映画
ジャンル
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 78分
初公開日 1947/09/30
公開情報 セントラル

【解説】
なんと言っても、M・ディートリッヒの存在感。ヨーロッパ貴族の血筋と偽ってニューオリンズに流れてきたディートリッヒ演じる魅惑的な美女。じつは生活に疲れた“元娼婦”。妖しい魅力で玉の輿をねらって銀行家に近づくが、世話焼きの船乗り男の“真実の愛”に気づきハッピーエンド。いつもは退廃的なイメージのディートリッヒだが、ハリウッド映画的小メディー・タッチにまとまる。第二次世界大戦の際、R・クレールがパリからハリウッドに亡命したときの第一作目。まだ英語もままならないクレールを助けて、ディートリッヒが通訳など多くを貢献した仕事でもあるそう（この時、彼女は40才）。邦題とキャスティングでもって、妙に重たいものの期待してしまうが、さわやかに裏切られる。

【クレジット】
監督 ルネ・クレール Rene Clair
製作 ジョー・パスターナク Joe Pasternak
撮影 ルーディ・マテ
音楽 チャールズ・プレヴィン Charles Previn
 フランク・スキナー Frank Skinner
出演 マレーネ・ディートリッヒ Marlene Dietrich
 ロバート・ヤング Robert Young
 ブルース・キャボット Bruce Cabot
 ミシャ・オウア Mischa Auer